

令和5年度 第1回福島市廃棄物減量等推進審議会 会議記録書

- 1 日 時 令和5年7月5日(水)
13:30 開始～15:30 終了 所要時間 120分
- 2 場 所 福島市役所 904会議室(9階)
- 3 出席者 委員7名、事務局10名、マスコミ5社
- 4 会議録

次長	1 開会 (1) 委嘱状交付
部長	2 市長あいさつ
次長	3 出席者紹介 (1) 委員 (2) 事務局
ごみ減量推進 課長	出席状況報告
次長	4 会長及び副会長の選出について 福島市廃棄物の処理及び清掃に関する規定第3条により会長及び副会長は委員の互選によって定めるものとなっている。 選出方法につきまして、ご意見がございましたらご発言をお願いする。 事務局案を求める声あり
ごみ減量推進 課長	事務局案としまして、会長を樋口委員、副会長を平井委員をお願いしたい。
次長	ただいまの事務局案に異議等あれば、発言をお願いする。

次長	<p>異議なし</p> <p>異議なしのため会長には樋口委員、副会長には平井委員を選出する。</p>
ごみ減量推進課長	<p>5 報告</p> <p>(1) 福島市廃棄物減量等推進審議会について (資料により説明)</p>
会長	<p>ただいまの事務局の説明に関し、意見・質問等あれば、発言をお願いする。</p>
会長	<p>質疑応答なし</p> <p>こちらの議題は事実を述べているだけであるため、本件については、これでお話を伺ったということにしたいと思う。</p> <p>続いて(2)令和4年度福島市一般廃棄物処理計画の進行管理について事務局より説明をお願いする。</p>
ごみ減量推進課長	<p>(2) 令和4年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について (資料により説明)</p>
会長	<p>ただいまの事務局の説明に関し、意見・質問等あれば、発言をお願いする。</p>
委員	<p>ただ今の説明について、気になる点を申し上げる。</p> <p>町内会連合会の代表として参加しているが、町内会と行政がどのように連携すればごみの減量化に繋げることができるかと考えている。</p> <p>結論として、我々町内会もそうだがPRの仕方をもう少し考える</p>

<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>べきではないかとの考えに至った。良いと思うことを一つ行えば全てが解決するわけではないが、これはやったほうが良いと思うことがたくさんある。それについても、行政の皆さん方も真剣に数多く取り組んでおられるが、それをもう少し市民の方にわかりやすくお知らせすべきである。</p> <p>また、行政の施策に沿った活動を積極的に行っているご家庭や町内会を紹介するなど、これまでとは角度を変えた、市民の皆さんへお知らせする手法を検討してみたい。</p> <p>今の説明で、行政の皆さんはやらなければならないこと、これは良いと思うことを数多くやっておられるというのは審議会メンバーとしては分かる。しかし、町内の皆様と話す则有料化になるぞという話が最初に来てしまって、ややもすると審議会及び行政は、ごみの有料化をすることを目的に様々な施策を行っているのではないかと誤解をされている方が出てきているということも現実である。</p> <p>有料化は目的としてやるのではなく、ごみの減量化をすることが目的のため、減量化のために行政が行ってきたこと、町内会へ協力してほしいことをPRしていくべきである。したがって、現在行っていることについて、また新たな展開として市民へ伝える手法等についてお考えがあればご紹介いただきたい。</p> <p>まさにPRについては、非常に大切だと考えている。その施策の見える化が非常にポイントだと考えている。</p> <p>今年の4月市長の定例記者会見の中で、福島市のごみの減量状況について発表があった。福島市の令和3年度の1人1日あたりのごみの排出量は、人口10万人以上の約260都市の中でワースト14位となっている。ピーク時から良くなっているが、市民へお知らせしながら、実感として良くなっているのか悪くなっているのかを知ってもらいつつ、家庭や町内会の優良事例についても、見える化をキーワードに市民の皆さんにもっともっと周知しなければならぬと感じ、更なる施策の展開をしていきたいと考えている。</p> <p>LINEの登録をしている方については、福島市を友達登録しても</p>
-----------------	--

会長

らいたい。その中で、意識してごみの減量に繋がる方法を多く配信している。その中の一例をあげると、ごみの減量化に繋がる生ごみ処理のダンボールコンポストについて昨日追加で30セット募集をしたところ、今朝すでに申請が上限に達した。その点でも、ぜひ市民の皆さんこんな関心をお持ちですというところも併せて見える化をして参りたいと考えている。

2点目については、ごみの有料化に関しても今後どのような展開になるか、課題として考えているが、それについても指摘いただいたとおり、目的ではなく一つの手段であるというところも踏まえて、繰り返しにはなるが市民の皆様に見える化をキーワードに広報していきたいと思う。

委員から話があったことは、補足すること何も必要ない位一番大切なところをついていると思う。それに対し市役所の課長の回答ももっともである。

今までどおりの方向で今までどおりの情報発信の仕方も続けて欲しい。しかし、この情報のメッセージが伝わっている人たちというのは、もはや減量に取り組んでおり、これ以上ごみをどうしたら減らせるかというような方に届いている気がする。

仕事で忙しい、子育てで忙しい、或いは大学生等で勉強が忙しくて、ごみの分別に興味がないような、メッセージが伝わっていない層にどう伝えていくのかが重要。その時にLINEという話があったが、ではそのLINEは一体どんな人たちが登録しているのか。何人登録しているのか、ということを見るとまだまだ検討の余地がある。LINEという新しいツールに頼るということではなくて、むしろ市役所の若い職員がどうやって日常情報交換しているか、そのような市役所の若い職員の意見や考えを取り入れていかなければ厳しいように思う。

先ほどの経過にもあったように、特にこれだけ我々が何年間も、特に市役所の方は身を削ってごみを減らすという努力をごみ減量大作戦として3年間実施してきている。そういうアピールは結構マ

	<p>スコミの方も報道して下さっていると思うが、それが市民のごみ減量にどれくらい繋がったのかというと、着実に減っているとは言いが、確実に大きくは減っていない。繰り返しになるが、もう減らせる人が限界まで減らしているような印象があるという話をよく聞く。そうではないところにどうタッチするのか、これはもしかしたらここにいる我々ではなくて、もうちょっと違う層と話し合いをしながら何かヒントを見つけていかないといけないと思う。</p> <p>そのためにはまず、市役所の若い職員に、この辺りで勉強会をしていただいてというのも良いと思う。</p>
会長	他に意見はあるか。
会長	<p>では私から。</p> <p>古着草枝類の分別収集というのを目標に掲げているが、令和4年と令和5年には草枝類の新たな分別収集についての記載がない。</p> <p>私が知るところ福島市のごみが多い原因はたくさんあると言われていて、その中で現場の収集運搬をしている人の話を聞くと、震災以来、原発事故の影響で庭の除染をしてすごく綺麗になった結果、枝や木があるともうすぐに片づけたくなり、過去にないくらい草枝のごみが多くなっていると言う。それが多くなったことによって、午前中1回で収集できたのが午後も行かなくてはいけなくなったという話をよく聞く。なので、その大胆にごみを減量していく中ではやはり排出物の多いもの、インパクトの多いものに手を付けていかなければいけないと思う。この草枝類の減量が重要だと思うが、厳しいことを言って恐縮だが、どのように考えているのか。</p>
ごみ減量推進課長	<p>資料と共に回答する。</p> <p>令和5年度記載がないのは、草枝類の減量事業をやらないということではなく、引き続き取り組んで参りたいと思うと同時に、指摘のとおり草枝類の排出量は全体の中でも多い割合を占めているため、何とかしなければならないと考えている。</p>

<p>会長</p>	<p>市長も草枝類について、何とかしなくてはいけないと指摘されている。我々事務局の方にも指示があり、対策を考えているところである。現状で取り組んでいる内容としては、枝類のチップ化をするための剪定枝破碎機の貸し出し事業がある。同時に、現在はお指摘のとおり草枝類は可燃ごみとして焼却の方に回ってしまっているが、それを焼却しないで処理できるような方法について検討しているところである。正直なかなか答えが見つからないところもあるが、引き続き検討を続けて参りたいと考えている。</p> <p>先進事例を参考に、先進地を探していただいて視察に行かれるというのが一番手っ取り早い方法だと思う。2つ目に、ごみ減量を圧倒的に実現できる可能性があるのがやはりプラスチックだと思う。</p> <p>この春からプラスチックの資源循環促進法が施行された。このプラスチックはただ集めても実際のところどのようにしたらいいのかその先が決まっていない。仙台市などはもう実施しているようだが、仙台市のように大きな自治体はそれだけ大きな資源になるので売り先なども見つかりやすいが、福島市を始めとした仙台市程大きくない自治体は、民間事業者でも買取ってもらえなかったりと難しい部分がある。とはいえ、製品プラスチックの再商品化は考えていかななくてはならない。プラスチックを循環させるためには、一つにはプラスチックをまた再プラスチック化するマテリアルリサイクル、それからプラスチックはカロリーを持っていて、熱を持っているのでサーマルリサイクルという熱利用やエネルギーに変えて使ってしまうという方法の大きく分けて二通りある。福島県内にもプラスチックを熱として、燃料として使う会社が結構増えている。大きな工場ではそういった再資源化された燃料でもって熱を作らないと会社の経営やモラル、社会の规则的に難しいという切迫した会社も現れているようだ。大きなところにはそういう形で引き取ってもらうなど、具体的に考えていかないとこの目標達成はできないと思う。ぜひ、今年がもう最後の山だという位の意気込みで臨んでいただきたい。</p>
-----------	--

会長	他に意見はあるか。
委員	<p>市役所の方はたくさん努力されていることをここに来て初めて知った。私たちのところは1300人位の女性部となっている。毎日ごみとは関わっている人達なので、できればもっと、どんどん新しい資料を送っていただいた方が良いように思う。</p> <p>自分も購入したが生ごみ処理のダンボールについてもできればもっと数を、30個と言わず買える方法にしていただければ良いかと思う。</p>
会長	1300人もの方がいらっしゃるということで、かなりのインパクトがある。是非協力をお願いします。
ごみ減量推進課長	<p>1300人の皆様に伝われば、1300人から始まって、それがどんどん倍になる。広がりを持ったご協力をいただけるのであればとても大切な皆様だと思うので、その際にはぜひご協力をお願いします。</p> <p>またダンボールコンポストについては、先ほど30という数字をご案内させていただいたが、当初は今年度300セット予定でスタートし、ご購入いただいている。昨日また追加で30セットを追加させていただいて、合計330セットは皆様のお手元に届いている。</p>
会長	他に意見はあるか。
委員	<p>1人当たりのごみの排出量について質問する。</p> <p>平成33年度までに890g、令和4年度の999gになったと先ほど発表があった。その後、令和7年度までに530gというのはいささか急激に感じ、算出根拠を伺いたい。</p> <p>また、先ほど出た広報については一番大事だと感じている。ある</p>

<p>会長</p>	<p>程度若い人もそうだが、小学4年生向けにごみや環境に関する副読本を作成していたと思う。そのような教材を活用するなどして学校へ出向いて子どもたちへ啓発を行い、それを子どもたちが家に持ち帰れば、広報の一つとして良いかと感じる。子供たちが大きくなっていく中で、ごみに関心を持たせることが大事だと感じた。</p> <p>それから、ダンボールコンポストを使用する人は、恐らくその後できた堆肥を使っていると思うが、市内には色々マンションも多く立ち並んでおり、マンション住まいの方も増えている。マンション暮らしの方は堆肥の使い道が難しくダンボールコンポストはなかなか手が届かないのではないかと思う。何か違う方法も考えてほしい。</p> <p>また、東京の町田市があるが、あそこは既に枝をチップにするチップ工場を持っており可燃物に出していない。そのような先進地に市役所職員も視察すれば良いと思う。</p> <p>1番目の質問については事務局の方から回答させていただくが、委員の方にはぜひご理解いただきたいと思う。物差しが変わったことである。890gの目標がわずか数年で目標も達成していないのに半分程になるような話ではない。数え方が変わったのである。今日この機会にしっかりとご理解いただきたい。</p>
<p>ごみ減量推進係長</p>	<p>ご意見感謝する。</p> <p>1点目の530gの目標値について回答する。以前掲げていた890gという目標の数値については、市で受け入れている一般廃棄物全てを対象とし、そこから1人1日当たりの排出量を算出していた。そのため、その中には事業系一般廃棄物や家庭から出る資源物、そういったものが含まれた目標値となっていた。それに対し、今回一般廃棄物処理基本計画の中で令和7年度までの目標値として設定した530gについては、生活系のごみの中でも資源物を対象に含めていない。折角市民の方々が分別しているにも関わらず排出量の中に含まれてしまうと分別意識の低下に繋がってしまうのでは</p>

	<p>ないかという声が上がった。その為、今回の530gの目標値については、生活系のごみの中でも可燃ごみと不燃ごみと粗大ごみという、ごみとして処分しなければいけない3つを対象とし目標値を設定させていただいた。そういった違いがある。今後ごみを出すときには皆様の中でしっかりと分別をして出していただくことで少しでも目標値に近づけるような設定をさせていただいた。</p>
<p>会長</p>	<p>最近の粗大、可燃、不燃だけでカウントするとどの位なのか教えてほしい。</p>
<p>ごみ減量推進係長</p>	<p>計画策定時の基準年度、令和元年度の数値だと770gという数値であったが、現在、最新の情報で、令和4年度の1人1日当たりの生活系排出量が671gという数値になっている。</p>
<p>会長</p>	<p>希望が持てる数値であると感じる。</p>
<p>ごみ減量推進係長</p>	<p>先は長いが着実に減量している。引き続き結果を見える化し、皆様にしっかりとお伝えしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>残り2つについて回答をお願いします。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>小学校4年生の例で広報をという点でご指摘いただき感謝する。私もそうだが小学校で習った中身は今でも覚えていることが多いように感じる。小学生にごみの減量の大切さや取り組みについて、ご指摘のとおり広めて参りたい。</p> <p>一例だが、最近学校から出前講座という形でご依頼いただくことが増えてきた。それらの機会を積極的に利用しながら、小学生のみならず、幅広く皆様にお知らせして参りたい。</p> <p>3点目マンション住まいの方のダンボールコンポストについて回答する。まさにご指摘のとおりである。ご覧いただいた方はわかると思うが、なかなかの大きさがあるゆえ、部屋に置きたくない、</p>

	<p>置くスペースがない、バルコニーもないという方には使いづらいと考えている。ダンボールコンポストに限らず、他の案についても情報収集し検討中である。案内できる形になったらご案内させていただきたいと思う。</p> <p>町田市の例もご案内いただき感謝申し上げます。先ほど会長からもご指摘いただいたとおり、可能であればぜひ視察をして参りたいと思う。その結果については、視察が叶った際はこの場を借りご報告させていただく。</p>
<p>会長</p>	<p>他に意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>古着について、意見申し上げます。</p> <p>福島市信夫婦人会では、古着をバザーに出して収益を出している。しかし、海外への寄付も運賃が高いことから行っていない。集めた古着をリサイクルショップへもっていっても、何着も集めて100円程度である。リサイクルをしてごみの減量に貢献している立場から申し上げますと、古着のリサイクルや収集に関して市ではどのように考えているのかご教示願う。</p>
<p>会長</p>	<p>古着のニーズは多い現状がある。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>先ほど年2回のイベント回収を行っている中で古着の回収量が合計3,600kgと申し上げた。それぞれ1回2時間程度という短期間にも関わらず集まったのはニーズの多さを痛感している。</p> <p>現状では、古着は可燃ごみとして収集していることもあり、これは非常にもったいないと考えている。</p> <p>今現在、イベントで回収したものは市内事業者にご協力いただきリサイクルに回している。先ほども説明したとおりニーズがあるため、イベント回収だけではなく、定期的な回収の道も探って参りたいと考えている。実現できるように検討して参りたい。</p>

会長	他に意見はあるか。
委員	<p>現在の1人1日当たりの生活系ごみ排出量の目標値530gの考え方はとても分かりやすくよいと思う。令和4年度は671gとのことだが、この数字には、例えば福島市へ避難されて来ている方の人数も含まれているのか。</p>
ごみ減量推進係長	<p>先ほど申し上げた、令和4年度福島市民1人1日当たりのごみの排出量671gは、福島市に住民登録のある「住民基本台帳人口」をもとに算出しているため、避難者の人数は含まれていない。</p> <p>また、国勢調査人口をもとに算出した推定人口と住民基本台帳上の人口とは約7千人程の差がある。(住民基本台帳人口：271,405人、推定人口：278,112人(令和4年9月末現在))</p> <p>なお、ごみ減量大作戦の結果を出す時の数値は、避難者や除染作業員等の人数を考慮し、推定人口を用いて算出した。</p>
会長	他に意見はあるか。
委員	<p>ごみ減量大作戦では、20%減量を目標に3年間やってきた。この中で成果が出たのは、雑がみを集めることによってかなり数字が下がった。しかし、これだけ努力しても目標達成できなかった。やはり、「ごみ」というものに対する発想の転換をする他ないと思う。</p> <p>今日、3か所のごみ集積所を見てきた。そしたら燃えないごみの日にアルミ缶が出ていた。しかしあれは資源ごみである。一般市民の方の考え方は、はじめに燃えるごみ、燃えないごみ、最後に資源ごみが来る。それでは駄目だと思う。まずはじめに資源ごみ、次に燃やすしかないごみ、そして3番目は埋め立てするしかないごみとするとまた違った数字が出てくるように思う。</p> <p>福島市衛生団体連合会の立場として、いろいろなことを検討した。2021年、福岡県の柳川市でこの資源ごみ、燃やすしかないごみ、埋め立てするしかないごみに分けたところ、10%減になっ</p>

	<p>たと言う。そして、プラが倍になったという報告がある。</p> <p>次に京都の亀岡市が4月から実施し、4, 5月で20%カットになり、最後に徳島が5月15日から実施すると言っていた。担当する職員の皆さんもそういう情報を収集し、燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみの順番では駄目だと意識を持って欲しい。まず資源ごみ、燃やすしかないごみ、埋め立てするしかないごみに分けることを提起すると良いと思う。急には難しいが追々やる時は、ごみの分別の方法は資源ごみ、燃やすしかないごみ、埋め立てするしかないごみに分けてほしい。そうすると、市民の方の意識が変化していき、今朝を例に挙げるとアルミ缶は資源ごみだと気付けると思う。皆様どうか。</p>
会長	<p>大賛成である。</p>
委員	<p>さらに、先ほど出たダンボールコンポストだが、マンション住まいの方に対して、使用しない肥料は農家に提供し、お礼として花の一鉢でも貰える制度にしないとマンションはやらないと思うと意見していた。しかし先ほどの話を聞くと進んでいないように思える。我々の意見はどのように反映されているのか。</p>
会長	<p>今年は声を大にして発信しているので通ると思う。</p>
委員	<p>よろしく願います。</p>
会長	<p>1番目は非常にメッセージ性がある。分け方の表現について、来年度のごみ分別の表に反映し、真ん中が燃やすしかないごみを書いてもらいたい。</p>
委員	<p>よろしく願います。</p>
会長	<p>他に意見はあるか。</p>

委員	<p>私事だが、私はガーデニングが趣味である。色々な木を植えているが、やはりごみ問題が大きい。家にコンポストが1つあり利用している。しかし、去年チップ化するための機械の貸し出しを行っているということで借りてきた。その結果、あまり役に立たず返却した。職員の方でも誰かお使いになってやられているかと思うが、何か残念に思う。庭師に年1, 2回来ていただいているが、やはり枝類は出る。私自身ごみを少なくしたいという思い入れはあるが、少し残念でならなかった。個人的な意見を申し上げて申し訳ない。</p>
会長	<p>枝葉処理する機械が今一つ足りないというのは、去年のこの委員会でも発言があった。</p>
委員	<p>私である。あれでは使い物にならないと提示した。支所に置いてあり、実際使用してどうだったか聞くと「故障しています。」となる。現在は民間会社に委託してその上借りてくるようになったようだが。</p> <p>チップーとは、丸太を入れるものであるが、市が用意した機械は親指位の枝を入れても止まってしまう。私はきちんと知っている。</p>
会長	<p>例年よりも議論が白熱している。では次の議題に移りたいと思う。続いて、(3) 令和5年度福島市一般廃棄物処理実施計画について事務局より説明をお願いします。</p>
ごみ減量推進課長	<p>(3) 令和5年度福島市一般廃棄物処理実施計画について (資料により説明)</p>
会長	<p>事務局の説明について、意見・質問ありましたらお願いします。</p>
会長	<p>こちらの方は、福島市としてごみ全体をどのように処理するのかということが述べられている部分になる。処理施設が大きく変更さ</p>

	<p>れたわけではないため、長期的にあまり変わらない傾向の計画である。こちらについては、福島市に現有する施設を使って、最大限このように適正に処理をしていただくということでよろしいかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>次、報告事項で（４）ごみを取り巻く現状ということについて。こちらについては、事前に事務局から委員の方々へごみについての色々なルールや法律的なものについて、委員で理解を深めるために話してください。と言われている。今日議論が白熱したのでやめても良いと思ったが、折角の機会なので10分位で手短かにやりたいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>（４）ごみを取り巻く現状について （会長持参の資料により説明）</p>
<p>会長</p>	<p>6 その他 次に次回の審議会の日程等について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>次回の審議会のご案内をさせていただく。次回は、令和5年10月頃を予定している。皆様にご審議いただく内容、報告する内容、そして日程についてはまだ確定をしていないため、確定次第早めに皆様にご連絡させていただく。</p> <p>また、本日の審議会についてもパソコンをお持ちいただいてペーパーレスにご協力いただいている。次回の会議についても、ペーパーレスの観点から希望された方については、電子データであらかじめ資料をお送りさせていただくのでご要望をいただきたい。引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>大変今日は議論が多く出た。ごみをどうしていくか理解もかなり深まったと思うので、その知識を深めたまま10月お会いできるよ</p>

次長	<p>うによろしくお願ひ申し上げます。事務局へお返しする。</p> <p>7 閉会</p> <p>それでは、以上をもって、本日の審議会を終了させていただく。 本日はお忙しい中、出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>以上。</p>
----	--